

# [医療費削減から市民の健康向上に向けて(呉市)]

## 課題 (状況) →

- 高い一人当たり医療費支出の水準 (全国の1.4倍)
- 増加する医療費支出の適正化 (レセプトの電子データ化によるジェネリック医薬品への切替、健康の向上)

## 目標 →

- 国民健康保険の健全運営(医療費削減)と市民の健康寿命の延伸
- ジェネリック医薬品の利用促進
  - レセプト点検の効率化
  - 保健事業の推進による健康寿命の延伸

## 具体的取組

- ①健康寿命延伸への具体的取組み
- レセプトのデータベース化
- 差額通知書によるジェネリック医薬品使用促進
- レセプト点検の充実・効率化
- 保健事業への活用 (重複・頻回受診者等への保健指導実施、生活習慣病放置者フォロー事業、糖尿病性腎症等重症化予防事業など)  
③3,300万円(2010)→2,000万円 (2014)
- ⑤呉市地域保健対策協議会 –呉市、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会等
- ⑥・呉市医師会との事前の十分な協議
- ・被保険者への十分な説明、指導 (ハイリスク患者を特定しての訪問指導等の直接指導)
- ・レセプトの安価なデータベース化とこれによる医療費分析

・レセプトデータ作成には機微な個人情報であり、取扱いの慎重さと安価な処理コストが求められた。

## 規制

・ジェネリック医薬品への切替に向け医師会・薬剤師会と事前協議、市民・医師を集めてのシンポジウム等開催

## 解決

## 呉市プロジェクト

- ①プログラム (行動)
- ②スケジュール
- ③予算
- ④専門人材
- ⑤推進・運用組織
- ⑥成功要件

## 地域資源 人材

- ・(株)データホライゾン  
(レセプトデータベース作成、医療費分析)

- ・医師会、歯科医師会、看護師会、薬剤師会など4師会の協力

## 支援政策 協力者

## 産学連携 ・技術

- ・広島大学医  
歯薬保健学  
研究院

## 結果 (数値) →

- 通知した被保険者の8割がジェネリックに切り替え、1億4730万円の費用削減
- 重複/頻回受診者 (10名に指導8名が削減)、重複服薬指導 (155名に指導、94名に削減効果)
- 糖尿病性腎症等の重症化予防事業50名を超える者に指導、人工透析への移行者はない

## 地域の変化 →

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会等への事前説明等の実施、医療機関の意思の優先等により、最近は取組への協力医療機関が増加
- ジェネリックへの切替等住民の理解も親展

## 残る課題 →

- ハイリスク患者の重症化を予防していくことが必要。このため健康への取組み意識が低い方の指導事業への参加促進、重症化可能性の高い方々のスクリーニング方法の明確化

## 次の行動 →

- 重症化しやすい患者の特性が明確になれば効率的な指導事業が可能。このため意見を持つ大学等と研究やフィールドサービスを連携して実施